



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1468 回 (16)

会 長 能 登 伸 一

幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2021 年 11 月 12 日 (金) 12:30 ~

場 所 福山ニューキャッスルホテル

例会行事 点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の理想 」

ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照)

例会情報 会 長 報 告

幹 事 報 告

出 席 報 告

S A A 報 告

ス マ イ ル 報 告

プ ロ グ ラ ム 情 報

そ の 他 報 告

その他情報 メ ー ク ア ッ プ 情 報 (来 週 分)

メ ー ク ア ッ プ 情 報 (再 来 週 分)

今 後 の 行 事 予 定

ク ラ ブ 活 動 報 告



【 会 長 報 告 】

皆様、こんにちは。一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、杉川聡ガバナーにおかれましては、わざわざご足労頂きまして誠にありがとうございます。佐々木宏ガバナー随幹事様、そして塩川裕樹ガバナー補佐様、鹿内要秀ガバナー補佐幹事様ありがとうございます。この度コロナ禍ということがありまして予定を変更させていただくというお手数をお掛けしたことに對して関わって頂いた方々に改めてお詫びとそれをお認め頂いたことに感謝申し上げます。

本日の例会において、杉川ガバナーがいらっしゃる中で、そして親クラブである福山北ロータリークラブさんの会員さんも見守られる中で、入会式を行えることはこの上ない喜びでございます。今日は記念すべき日となりました。

その上で、今日は杉川ガバナーからしっかりと御意思を賜り、今年度来年 7 月までの 8 か月を有意義にクラブ運営、活動ができますように学ばせて頂きたいと思ひます。

どうかよろしくお願ひ申し上げます。

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・2021 年度 11 月のロータリーレートのお知らせ 1 ドル=114 円 ・ロータリー財団月間 リソースのご案内
2	
3	

【プログラム情報】

《 入会式 》



この度、令和 3 年 11 月に入会させていただきました 大植 栄 と申します。

紹介者は日鐵鋼業の能登様です。仕事は、(有)メタルワーク福山で金属加工業を営んでいます。山口県の岩国で生まれ、福山で 32 年間過ごしてます。趣味は歴史探訪で全国の史跡や城跡を巡ってます。

私自身はこれまで奉仕活動の経験はほとんどありませんでしたが、入会を期に伝統ある福山西ロータリークラブの一員として、「Serve to Change Lives・奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために」の精神で、微力ながら頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

【 新入会員 】

氏 名 : 大植 栄 さん 【職業分類 : ステンレス装飾板金加工】
会社・役職 : 有限会社 メタルワーク福山 代表取締役
生年月日 : 1956 年 7 月 5 日
推 薦 者 : 能登 伸一 さん
アドバイザー : 佐藤 教夫 さん
所属委員会 : 親睦委員会、社会奉仕委員会



《 ガバナー公式訪問 》

R I 第 2710 地区 ガバナー 杉川 聡 様



皆さんこんにちは。ガバナーの杉川でございます。広島西南ロータリークラブに所属しております。これよりガバナー公式訪問卓話を始めさせていただきます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

まず最初に、簡単に自己紹介をさせていただきます。1957年に広島市内で生まれ、現在63歳でございます。大学卒業後、金融機関を経て、義父の経営する不動産管理会社に入社し、現在は、不動産事業以外に、福祉事業・フード事業を中四国で展開させて頂いております。ロータリーには1997年に入会させて頂き、幹事、会長を経て、今回ガバナーに就任させて頂きました。ロータリーに入って一番驚いたのが「職業奉仕」という理念で有ります。他の団体には無い概念で、高い倫理観を持って自らの仕事に専念することが地域社会の発展に繋がって行くと強く信じ、仕事にもロータリー活動にも邁進しております。10年ほど前から、不動産の再生事業に携わるようになりました。このきっかけはやはりロータリーの職業奉仕理念で有ったように思います。再生事業はその地域社会の皆様にとっては掛け替えのないもので有り、その事業を推進することが地域社会の発展に繋がり、ひいては弊社の発展にも繋がっております。ロータリーに入会し色々な経験をさせて頂いた事が、弊社の事業にも大変役立っており、「職業奉仕」の理念の大切さを痛感しておる所でございます。私より、ロータリー歴の長い先輩たちが沢山いらっしゃいます中で、大変僣越ではございますが、コロナ禍のガバナーとして、皆様の先頭に立ち頑張ってお参ります。何卒宜しくお願い致します。

それでは、シェカール・メータRI会長の運営方針に付いて説明をさせて頂きたいと思えます。シェカール・メータ会長は、インドのカルカッタのご出身で、カルカッタ・マハナガルRCに所属されておられます。仕事は、会計士をされており、自身が設立された不動産開発会社「Skyline Group」の会長を務められ、カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクターも勤められています。

会長テーマは、「Serve to Change Lives」和訳は、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために。」でございます。メータRI会長は、ロータリークラブに入会された際に訪れた僻地での奉仕活動により、奉仕の必要性について目覚められ、人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を

豊かに出来るのだから。と感じられ、ロータリー活動に、のめり込んで行かれたようでございます。

シェカール・メータ会長は年次目標として次の3点を掲げられました。

一つ目は、「2022年7月1日までに会員数130万人を目指します。」であります。次は、「ロータリー奉仕デー」の開催であります。最後は、女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダー成功に必要な手段を与えて下さい。と、おっしゃられています。ここで言う「女子のエンパワメント」は女性の活躍の場を増やしていくと解釈頂ければと思います。女性会員を増やしていく。女性の役員を増やしていく。そこに力を注いで下さい。この3つ目標をメータRI会長は強く発信されました。是非とも、各クラブにおかれましては、この目標達成のため、全力で対応願いたいと思っております。

次に、メータRI会長の目標を受けての、私のガバナー信条を説明させていただきます。

ガバナー信条は、

「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。」

～ 多様性を受け入れ、相互理解を深めよう！！ ～

と、させていただきました。

ここに至る経緯を説明させていただきます。15年ほど前に、ロータリーの先輩から連絡を頂き、先輩の作られた「お好み焼き店」に伺わせて頂きました。細かい説明は受けずに、お好み焼きを食べさせて頂き、店を出てから、開業に至った経緯をお聞き致しました。その時はちょうど20歳くらいで有ったと思いますが、先輩のお嬢さんが障がいを持たれていて、特別支援学校を卒業後、障がい者施設に入所されており、その施設が運営をしているお好み屋さんで有ると言う事でした。「娘は、小さい時からずっと謝ってばかりだった。友達に知り合いに一生懸命付いて行こうとするのだが、どうしても上手くいかず、いつもごめんなさい。ごめんなさい。と謝ってばかりだった。親として、我が子に【働く楽しさ、生きて行く喜び】を是非体感してもらいたいと思っていた。それを知らずに生きて行くのは余りにも可哀そうだと思った。そこで、この店を作ったのです。ここで働くようになったら、お客様から有難うって初めて言われたんですよ。生まれて初めて、他人から存在を認められたんですよ。その気持ち分かりますか？」って言われました。とてもショックを受けました。この先輩は、お好み焼の関連の仕事をされていたので、障がいを持っていた人でも使いやすいように店づくりにも工夫されておられました。お客様から、「美味しかったよ」「ありがとう」と言われた時の、お嬢さんの笑顔を今でも覚えております。

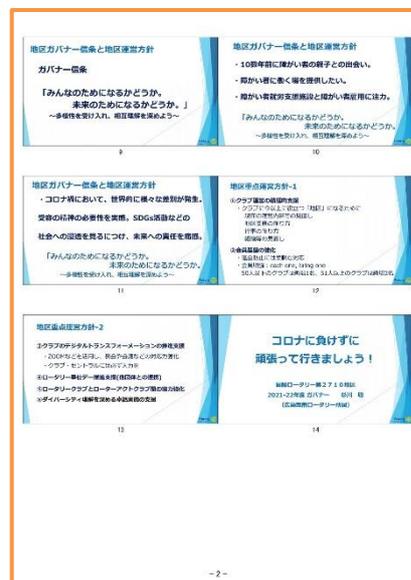
この時に先輩から、障がいを持っていても、その障がいに合わせた仕事を作っていくことが出来れば、充分一人前の仕事出来るのだと教わりました。大変恥ずかしい話ですが、この話を聞くまでは、障がいを持った人に、健常者と同様の仕事を担当して貰うのは無理だと思っていました。しかし、現在、弊社で働いてくれている多くの障がいを持った社員は、健常者とほぼ同じレベルで働いてくれています。この時は、障がい者に対する知識が無かったことを恥じました。そして、多様性を受け入れ、相互理解を深めて行く必要性をこの時に強く感じたところでございます。そこで、「多様性を受け入れ、相互理解を深めよう。」をガバナ

一信条とし、一年間各クラブの皆様にお話をさせて頂こうと思っていた所に、今回のコロナ禍が発生を致しました。世界から、人種差別的な報道なども聞こえて来るようになりました。地区の皆様にお伝えして行くには、もう少し大きなテーマが必要だと思い、「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか」をガバナー信条とさせて頂きました。4つのテストからの引用ですが、「今のみんなのためになるかどうか。未来のみんなのためになるかどうか」と読んで頂きたいと思います。SDGsが当たり前のような社会になって来ました。これからのロータリー活動は、未来を見据えた活動が必要なのだと思います。今年度は、各クラブで、その地域に必要とされる未来のためになると思われる奉仕活動を是非とも実施して頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

それでは、今年度の重点運営方針を説明させて頂きます。

まず、地区はクラブの活動を支えて行くのが役割ですから、クラブ運営の積極的支援をさせて頂きます。次に、会員基盤の強化をお願い致します。また、クラブのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進支援もさせて頂きます。ZOOMなどのツールを活用し、例会や会議などの対応力強化して下さい。メータRI会長の最大の事業で有ります「ロータリー奉仕デー」の推進支援を致します。ロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力も増やして下さい。そして、最後にダイバーシティ理解を深める卓話を実施して頂ければと思います。宜しくお願い致します。

2020年1月に横浜で初めて発生した新型コロナウイルスですが、1年半以上経ちましたが、まだ、ワクチン接種が遅れていますので、まだまだ予断を許さない状況が続いております。ロータリー活動を展開して行くには大変窮屈な状況では有りますが、その中で、ロータリーとして出来ることを確実に実行して参りましょう。コロナだから中止にしよう。コロナだから縮小しようばかりでは、大変残念です。コロナ禍でもこれだけの事を社会に対してやって来たのだと胸を張って言えるように、前だけを向いて頑張って参りましょう。あの一年はコロナ禍で大変だったけど、コロナ禍だから体験出来た事が沢山有って、あれはあれで記憶に残って良かったじゃ無いかって、来年の年度が終わるときは笑って話し合える事を願いながら、私からのメッセージとさせて頂きます。前だけを向いて、頑張って参りましょう。宜しくお願い致します。





【その他報告】

《「ロータリーの友」誌 紹介》

ロータリー情報委員会 登里 孝司

11月は「ロータリー財団月間」及び11月1~7日は「世界インターアクト週間」です。

1. 横目次 P5 2021-2022 年度 RI 会長メッセージ

- ・財団によって実現出来たプロジェクトの紹介
 - ① 子宮頸がんの予防と治療についての大規模な計画の実施
 - ② 医療従事者のための個人用防護服（PPE）の提供
 - ③ 児童福祉施設の子供達を対象に、次世代の農家が経済的に自立できるようにするための研修

2. 横目次 P8~15 インドでのポリオワクチン投与活動の体験談

- ・インドでのワクチン投与活動をするようになったきっかけ、そして、ロータリーが果たした役割について、意見交換がされてます。一読ください。

3. 横目次 P16~17 インターアクトクラブ(IAC)の地域社会への奉仕、国際交流についての取り組み

- ・さいたま市立浦和高校 IAC の取り組み
英語ディベート（議論）力を駆使して、模擬国連大会やアメリカスタンフォード大学が実地する相互文化理解のためのオンラインプログラム等に参加している。文化・言語・宗教・習慣の異なる高校生と交流し、お互いを尊重し、理解を深める事で、異文化理解に繋がると考えている。
- ・松商学園高校 IAC の取り組み
地域での奉仕活動に加え、国際交流にも力をいれており、ペットボトルキャップの回収、長野県障害者スポーツ大会の補助、松本城天守床磨き、災害ボランティア活動にも参加した。国際交流については、ロータリーの青少年交換学生の受け入れ、海外研修も実地した。昨年は、コロナ禍で生活に困っている留学生のために、全校生徒から物資を募り、留学生に寄付をした。

4. 横目次 P30~31 米山学友 カムピラー、アイラダーさん

- ・紹介記事が掲載されています。一読ください。

5. 縦目次 P4~8 デジタル技術って？ 光通信が支えるテレワーク 東京工業大学名誉教授 末松 安晴

